

こんな活動です

地域総がかりの地域学校協働活動 - 町民みんなが白い森子ども応援隊に -

山形県小国町		●活動名 白い森地域学校協働本部			●関係する学校名 小国町立小国小学校 小国町立叶水小学校 小国町立小国中学校 小国町立叶水中学校 山形県立小国高等学校		
協働活動開始年度	平成 19 年度	関係学校数	5 校	のべ学級数	31 学級	のべ児童・生徒数	579 人
活動区分	学校支援活動	—		—			
	地域未来塾	放課後子供教室		—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	1人		地域学校協働活動推進員等の数	3人		
	指定・設置日	平成26年10月1日指定		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有
学校運営協議会	参考URL	www.town.oguni.yamagata.jp					
●連絡先	小国町教育委員会 教育振興課 生涯学習担当			☎ 0238-62-2141			

体制図



小国町では、ブナの木肌と雪に共通する「白」をキーワードとして町全体を「白い森」と名付け、保小中高一貫教育構想を核として、学校運営協議会や白い森地域学校協働本部が連携・協働し、子どもたちの学びに多くの方々に関わる町民総がかりの協働体制を展開している。

平成29年度、統括コーディネーター・地域コーディネーターを教育委員会に配置し、町立小中学校と県立高校の各学校運営協議会が参画する合同学校運営協議会を設置している。子どもの見守りや読み聞かせ活動等には、白い森地域学校協働本部が中心的役割を担い、学校運営協議会委員も学校パートナーとして参加するなど、学校や地域を舞台に多彩な活動を展開している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 学校パートナーとしての学校支援活動
 - ・子ども見守り隊・・・児童の登下校を見守る学校安全パートナー。学校運営協議会が学校からの提案を具体化した。
 - ・昼休み、みんなで図書室へ行こう！・・・読み聞かせパートナーが主体的に企画。中学校での取り組みを踏まえ、小学校へと活動範囲を拡大させた。
- 地域体験学習講座・・・学校教育の補完機関である白い森学習支援センター事業における閉校校舎利用の取り組み。
- 放課後子ども教室：おくに放課後子ども教室「めっちゃ」・「まご楽校」、かのみず放課後子ども教室「ひだまり」における豊かな学びの提供。
- 白い森子ども体験教室：地域教育力・体験活動推進協議会主催、自然の特性を活かした体験学習プログラムの提供。

【実施に当たっての工夫】

統括的な地域学校協働活動推進員がCSディレクターを兼ねることにより、町内小中高校の地域学校協働活動をより効果的にコーディネートできる体制を整え、目標の共有化を図ることで、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進している。各協議会の自主性を尊重しながらも、合同学校運営協議会では共通の考え方に基つき、統一的な取り組みを実施する体制を構築している。

また、子どもたちに対して多彩な学びの場を保障できるよう、パートナーシップ企業をはじめ、多くの関係団体や関係機関、ならびにサポーターが関わり、全町「白い森子ども応援隊」として連携・協働する環境づくりに努めている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 「白い森子ども応援隊」が目指す町民総がかりの学校支援体制に対する理解が拡大したことにより、町民全体で子どもを育てる気運が醸成され、地域教育力の高まりが感じられる。
- 地域学校協働活動の展開により、地域における学校や児童・生徒への好意的見方が増えると同時に子どもたちとの関わりを通じた町民ボランティアの有用感や生きがいづくりにつながるなど、双方向の互恵関係が次の活動意欲、地域創生につながっている。
- 中高生が地域学校協働活動のボランティアとして参画できる機会を提供することで、ボランティアの芽が育まれ、人的つながりが生まれるとともに、協働活動が将来へと充実・展開していくことが期待できる。

● その他

白い森学習支援センターが小学高学年を対象に実施している「プログラミング講座」は、コンピューターに堪能な元教諭やパートナーシップ企業であるクアーズテック(株)、日本重化学工業(株)の若手社員に協力してもらい、より高度なプログラミングに親しむ機会を提供している。



若手エンジニアによる「白い森学習支援センター」プログラミング講座指導



読み聞かせボランティアによる「昼休み、みんなで図書室へ行こう！」